



看護部

Be Positive

地域愛にあふれ、人が大好き！



暮らしを見据えた看護を提供する
ポジティブな病院

藤枝市立総合病院



Our Vision

1 Action

自ら進んで実施する

当院は地域の基幹病院として、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院として大きな責務があります。私たちは、利用される地域住民の皆さまが安心して質の高い看護サービスを受けられるよう、日ごろより努力しています。そのために、看護部では「専門職としての責務を自覚し、質の高い看護を提供します」という基本理念を掲げ、看護部としての専門性を高めるための教育体制の充実を図り、積極的に質の高い看護実践に取り組める環境づくりをしています。

2 Thinking

物事を肯定的に考える

超高齢化における医療・介護の提供体制は大きく変わりつつあり、急性期医療を担う当院の看護の役割も変化しています。地域包括ケアシステムを構築するためには、地域の医療機関・介護施設や行政と協働し、地域住民の健康と暮らしを支える看護の提供が必要です。地域住民の生活と保健・医療・福祉をつなぐために、「急性期病院の看護師だからできること、すべきこと」が何なのかをポジティブに考えて、実践していきたいと考えています。

3 Challenge

新しい事に挑戦する

看護師自身が元気であること、やりがいをもって働けること、一人ひとりのワークライフバランスに配慮した環境を整えることができるように日々努力しています。看護師が活き活きと楽しく働くことができる職場こそが、患者さんに最高の看護を提供できる場となると考えています。現場のスタッフの一人ひとりを大切に、共に学び、共に育つ環境をさらに充実させて、新しいことにチャレンジし、スタッフの将来に楽しみが増える職場環境を確立できるように、力を合わせていきたいと思います。

Message

患者中心のケアをチームで支え合いながら、毎日がやりがい満載の職場でありたい

当院は、急性期から地域医療まで幅広く貢献する病院です。高度な医療を提供する一方で、患者さん一人ひとりの心に寄り添い、質の高い看護を提供することが私たちの使命です。看護とは、患者さんの心身の状態を深く理解し、その方らしい生活を取り戻せるようサポートすることだと考えています。そのためには、最新の知識と技術を習得し、患者さん一人ひとりの価値観や背景を大切にし、信頼関係を築きながら寄り添うことが大切です。私たちは、患者さんだけでなく、働く看護師一人ひとりの成長も大切にします。お互いを尊重し、多様な意見を積極的に交換できるような温かい職場づくりを目指します。また、デジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化を図ることで、看護師が本来の仕事である、患者さんとのコミュニケーションやケアに集中できる環境を整えます。ワークライフバランスも重視し、柔軟な働き方や充実した休暇制度を整備することで、看護師が心身ともに健康で、長く活き活きと働けるような職場づくりに取り組んでいます。私たちは、患者さんの生命力を引き出し、共に歩む看護部を目指します。



看護部長 十鳥 依利子



看護の質を高める働き方を促進し、
地域の中核病院として最高の看護を提供していきたい

Policy

B⁺

働きやすい環境の提供と看護の質向上を目指して

✓ 次世代型看護記録システム『チームコンパス』の導入



看護師長
高平 香



患者さんとのコミュニケーションを充実させ、
素早く適切なケアを提供していきたい

チームコンパスは、1500種類以上の標準看護計画を搭載したシステムです。患者さんの状態に合わせて、個別的な看護計画を作成できます。計画に沿った観察やケアを記録する画面も連動しており、新人からベテランまで、質の高い看護を提供できます。看護計画の立案時間が短縮され、早く適切なケアを提供できるようになります。また、記録作業の効率化も実現し、空いた時間を患者さんとのコミュニケーションに充てることができるようになります。

✓ 「セル看護方式[®]」の導入



看護師長
宮原 亜希



患者さんへのよりきめ細やかなケアと、
看護師の働きやすい職場環境を実現したい

セル看護方式[®]は、看護師の仕事でムダを省き、患者さんに直接向き合う時間を増やす仕組みです。患者さんを数人で分担し、それぞれが全ての看護を行います。これにより、患者さんのそばで密なケアができ、状態の変化に早く気づけるようになります。また、看護記録の作成や移動の効率化も図られ、看護師の負担軽減にも繋がります。結果として、患者さんへのよりきめ細やかなケアと、看護師の働きやすい職場環境の実現を目指しています。



新人看護師
前嶋 春佑



新人看護師
青島 沙良

基礎技術を向上させ、患者さんに安心感を与えられるような看護師になりたい

患者さんから『ありがとう』と言われた時は、この仕事をしていて本当に良かったと感じます。特に、名前を覚えてくれたことに感動しました。患者さんのために何かできたという実感が、私のモチベーションになっています。新人研修では、意思決定支援の研修が印象に残っています。患者さんの価値観を尊重し、寄り添うことの大切さを学びました。今後は、基礎技術を向上させ、患者さんに安心感を与えられる看護師になりたいです。上司や先輩方には、いつも感謝しています。分からないことは何でも相談でき、温かい雰囲気の中で働けることが、この病院の魅力です。

日々の看護実践を振り返り、患者さんの自立支援に繋がる看護を目指していきたい

患者さんから感謝の言葉をいただいた時、看護師の仕事をしていて本当に良かったと感じました。私の言葉が患者さんの励みになっていると知り、とても嬉しかったです。新人研修では、メンタルヘルスの研修が印象に残っています。ストレスを一人で抱え込まず、周囲に相談することが大切だと学びました。今後は、先輩方のアドバイスを参考に、患者さんの自立支援に繋がる看護を目指したいです。上司や先輩方のサポートのおかげで、安心して看護の仕事に取り組んでいます。日々の患者さんやご家族との関わりや看護実践を振り返り、成長につなげていきたいと思います。



充実した新人教育支援体制、育ちやすい風土

看護師が自ら学べる学習環境および教育システム



教育担当師長
山根 映貴子

看護師が常に成長できるよう、集合研修からe-ラーニングなど多様な学習機会を提供

当院では、看護師が常に成長し、質の高い看護を提供できるように、多様な学習機会をご用意しています。「クリニカルラダー教育研修」では、新人からベテランまで、それぞれのレベルに合わせた研修で、基礎から専門知識まで幅広く学べます。グループワークやシミュレーションを通して、実践的なスキルも習得できます。「OJT」では、経験豊富な先輩看護師から、職場に合わせた個別指導を受けられます。また、「e-ラーニング」は、時間や場所に縛られず、自分のペースで学習できます。「S-QUE ラダー」をはじめ、様々な専門分野の研修が充実しています。「キャリアアップ研修」として、がん看護など、専門分野の院内認定看護師養成研修も実施しており、キャリアアップを支援しています。

On-the-Job Training (OJT)



リフレッシュ研修



患者さんとの関わり



新人看護師 育成スケジュール

▼看護部 WEB▼



ライフステージに応じた働き続けられる職場づくり



看護師
澤山 亜希

患者さんに寄り添い、不安を解消できる看護師を目指したい

患者さんの立場に立って、なぜその行動をとるのかを考え、一人ひとりに合った看護を提供できるよう心がけています。目の前のことに一生懸命取り組み、先輩に相談しながら患者さんの安全を守れることを常に意識しながら看護を実践しています。患者さんの心身に寄り添い、不安を解消できるような看護師を目指しています。そのため、正確な知識と技術を習得し、臨機応変に対応できるよう日々努力しています。当院は、育休や産休制度が充実しており、安心して仕事と育児を両立できる環境が整っていると感じています。また、手厚い教育体制のもと、個人のペースで成長できることも魅力です。



助産師
杉村 千春

定年後も含めて長く安心して働けるこの環境で、母と子の健康を守っていきたい

患者さん一人ひとりの状況や気持ちを理解し、公平なケアを提供することを大切にしています。うまくいかないことがあっても、改善のために努力し、助産師としての経験を活かして、母子保健の分野に貢献したいと考えています。地域の方々が安心して子育てできるよう、必要な知識やスキルを習得し、支援を必要としている人を受け入れられる力を身に付けて、地域との連携を強化していきたいです。当院では、定年後の働き方についても相談でき、長く安心して働ける環境が整っていると感じています。これからも、母と子の健康を守り、地域に貢献できる助産師を目指します。

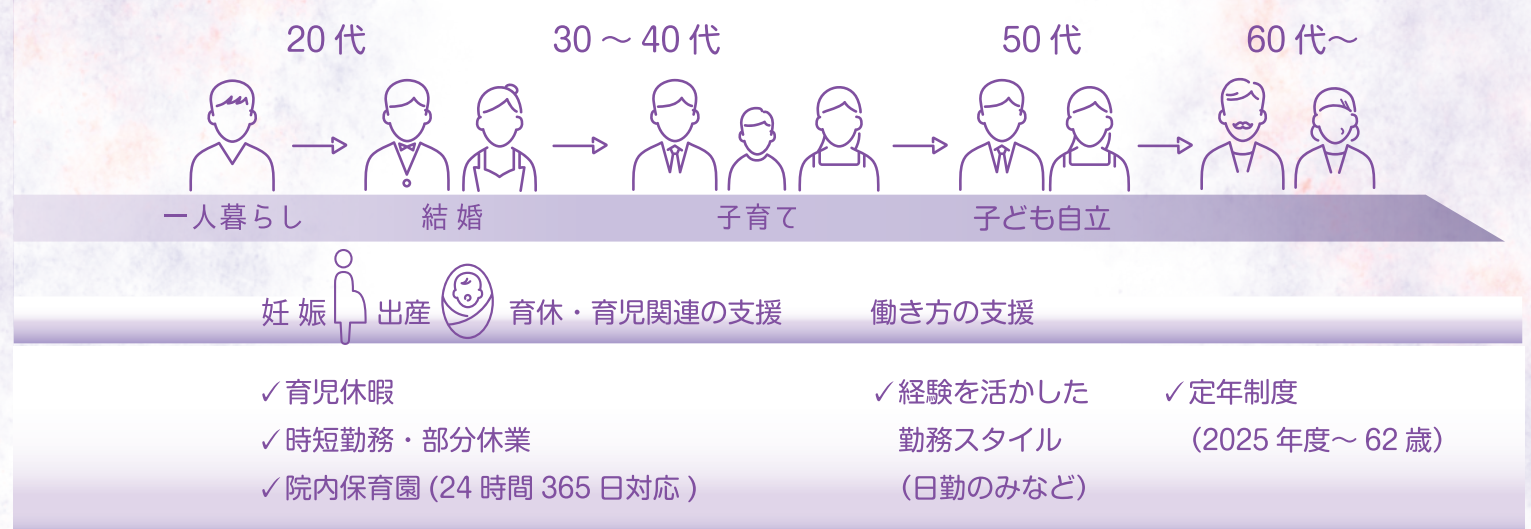


看護師
安藤 良輔

患者さんやメンバーを笑顔にできるよう、指導者としてのスキルを磨きたい

看護の仕事は、チームで協力し、患者さんの笑顔が見られるとやりがいを感じます。スタッフ同士が安心して働ける環境作りにも力を入れていきたいです。これまで、呼吸器内科や整形外科などを経験し、個々の患者さんの心に寄り添うことの大切さを学びました。特に、新人看護師の指導を通して、教えることの楽しさを知り、指導者としてのスキルを磨きたいと思っています。当院では、男性の育児休暇を取得できる環境が整っており、私も実際に取得しました。今後も、様々な知識を深めて、患者さんやチームのメンバーを笑顔にできる看護師を目指します。

ライフイベントに応じた支援



スタッフ一人ひとりの可能性を伸ばし、その持ち味を十分に発揮できるように、ワークライフバランスに配慮するだけでなく、ライフイベントに応じたきめ細やかな支援をしています。スタッフが生き生きと働くことができる職場環境を整え、それぞれのライフイベントに際しての働き方についてアドバイスやサポートをしています。



退院前・退院後訪問～訪問看護を通して、
患者さんの望む生活や意思決定をポジティブに支えたい

B⁺ 地域に深く関わる新センターの設置

訪問看護

ご自宅で療養される方々をサポートし、安心して暮らせる
地域社会の実現を目指したい

藤枝市では高齢化が進み、ご自宅で療養される方が増えています。私たちは、そんな方々をサポートし、安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。まず、患者さんやご家族がご自宅で安心して過ごせるよう、必要な医療やケアを提供します。また、地域の医療機関と連携し、切れ目のない医療サービスを提供します。そして、患者さん一人ひとりの状況に合わせて、きめ細やかなケアを提供します。そのためにも、スタッフ同士が協力し合い、お互いを尊重しあえる温かい職場を目指しています。



訪問看護
看護師長 渡邊 典子

家庭医療センター 令和8年度開設予定

心身両面のケア、健康増進、予防医学など地域住民の健康を
サポートしていきたい

家庭医療センターは、地域住民の皆さまの健康をサポートする拠点です。風邪などのちょっとした不調から、慢性疾患の管理まで、健康に関する相談に気軽に来院できます。患者さん一人ひとりの生活背景に寄り添い、心身両面のケアを提供します。また、地域住民の健康増進を目的とした予防医学にも力を入れており、地域医療機関や福祉施設と連携し、地域全体の健康づくりに貢献します。当センターは、患者さんだけでなく、スタッフ全員が共に成長できる温かい職場を目指しています。



家庭医療センター

B⁺ 地域での活躍が期待される看護師たち



看護副部長
小林 綾乃

「時々入院、ほぼ在宅」という時代に、切れ目のない看護を提供できる体制をつくりたい

患者さん一人ひとりの状況や希望を理解し、最適なケアを提供することは、看護の基本です。「藤の花かんかんネット」では、病院と地域の看護職が連携し、患者さんが安心して療養生活を送れるよう、様々な活動を行っています。私は、このネットワークを通じて、急性期病院と地域との連携を強化し、退院後の患者さんが安心して地域で生活できるよう、看護の質向上に貢献したいと考えています。具体的には、地域の看護職の方々への教育や、病院と地域との情報交換を促進することで、切れ目のない看護を提供できる体制づくりを目指します。また、「時々入院、ほぼ在宅」という時代において、病院で得た知識や技術を活かし、地域での看護にも貢献したいと考えています。



看護師
後藤 心

特定行為研修を修了者として、地域包括ケアシステムの一員として貢献していきたい

私は、特定行為研修を修了し、褥瘡ケアに力を入れています。無理のない範囲で、医師や先輩のWOC、病棟スタッフと密に連携し、患者さんの状態に合わせたケアを提供しています。特に、デブリードマンやスキンケアチームの調整を行い、多くの患者さんの創傷改善に貢献できたことを嬉しく思います。今後は、入院中だけでなく、退院後も安心してケアが受けられるような体制づくりを目指し、地域包括ケアシステムの一員として貢献していきたいと考えています。当院では、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格取得を支援する制度があり、子育てと仕事を両立できる環境も整っているため、とても働きやすいと感じています。

仕事と家庭は
両立できる??

WORK & LIFE
ワークライフバランス
趣味が仕事のやりがいにつながる!

ストレス発散
どうしてる??

8 年目

看護師 阿部 紘大

私は、平常心を保つことを心がけています。頑張りすぎると、かえってストレスを感じてしまうことがあるからです。全てのことに完璧を求めず、今できることに集中するようにしています。休日は心身を休め、趣味に没頭したり、友人と過ごすことでリフレッシュしています。

3 年目

看護師 上中 咲奈

私は、仕事中は仕事に集中し、プライベートの時間は完全に気持ちを切り替えてリラックスするようにしています。調べ事は、業務時間内に済ませるようにし、プライベートの時間を確保しています。当院は、教育体制が整っており、先輩方も優しく相談しやすい環境なので、安心して仕事に取り組めます。

4 年目

看護師 水嶋 文彦

仕事もプライベートも全力で楽しみたいと考えています。仕事中は仕事に集中し、休日は趣味の旅を楽しんだり、友人と過ごしたりとメリハリをつけて生活しています。仕事中に「休みの日にしたいこと」を想像することで、モチベーションを維持し、仕事への意欲を高めています。

11 年目

看護師 塚田 恵理華

私は仕事もプライベートも充実させたいので、常に「どうすればできるか」を考えています。例えば、家事や育児をしながら勉強したい時は、スマホで音声を聞きながら家事をしたり、家族みんなで協力し合い時間を有効活用したりしています。また、夫とも協力し、お互いの時間を大切にすることを心がけています。

B⁺ Be Positive

看護部理念 PHILOSOPHY

私たちは専門職としての
責務を自覚し、
質の高い看護を提供します

看護体制

看護配置：7対1

勤務体制：[一般病棟] 二交替制 [外来] 日勤 [救急治療室] 二交替制

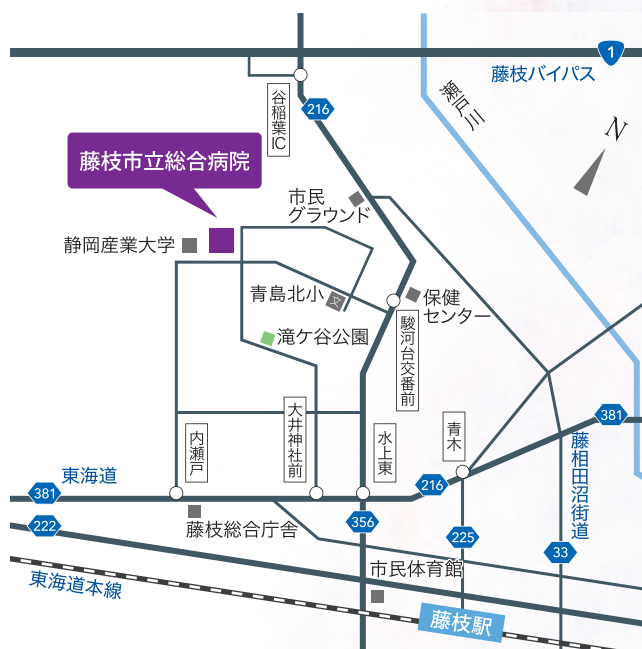
看護体制：セル看護方式[®]

病院概要

一般病床数：564床
(うちICU8床・NICU6床・ER20床・緩和ケア病棟12床)

各種機関指定・認定

保険医療機関	地域がん診療連携拠点病院
国民健康保険療養取扱機関	臓器移植推進協力病院
労災保険指定病院	地域肝疾患診療連携拠点病院
生活保護法指定病院	救急告示病院
感染症法指定病院	エイズ治療拠点病院
養育医療指定病院	難病医療協力病院
被爆者一般疾病医療機関	地域リハビリテーション支援センター
自立支援医療指定病院	日本医療機能評価機構認定病院
臨床研修指定病院	障害福祉サービス事業者
地域周産期母子医療センター	静岡 DMAT 指定病院
災害拠点病院 (地域災害医療センター) 卒後臨床研修評価機構認定病院	救命救急センター
地域医療支援病院	



公共バスをご利用の場合

JR東海道線「藤枝」駅 北口(1番のりば)よりバスで約15分
「藤枝市立総合病院」下車

お車をご利用の場合

国道1号線「谷稲葉IC」より車で約5分



藤枝市立総合病院

FUJIEDA MUNICIPAL GENERAL HOSPITAL

〒426-8677 静岡県藤枝市駿河台 4-1-11 tel 054-646-1111 (代表)

藤枝市立総合病院 看護部



<https://www.hospital.fujieda.shizuoka.jp/introduct/5/index.html>



くわしい情報は看護部WEBページをご覧ください